

三郷流山橋有料道路 道路パトロール手順

1. 道路パトロールの目的

三郷流山橋有料道路について、安全で快適な交通を確保することを目的とする。

2. 道路パトロール手順

道路パトロール手順は次の通りとする。

- (1) 安全具（ヘルメット、反射ベスト等）を装着する。
- (2) パトロールカー積載の保安用品（誘導棒、カラーコーン、矢印板、発煙筒等）を確認する。
- (3) パトロールカーの簡易点検を行う。問題がなければ道路パトロール開始。
- (4) 走行中は黄色回転灯を常時点灯させておく。
- (5) 道路パトロールは定められたルートで、時速50km以下の速度で実施する。
- (6) 一般ゴミや交通への影響が少ない落下物等を発見した場合、周囲の交通状況を考慮し、安全が確保できる範囲内で回収するよう努める。
- (7) 道路パトロール終了後、回収ゴミ等を処分し、保安用品を確認する。

3. 道路パトロールの実施

次の基準により道路パトロールを実施するものとする。

- (1) 土日祝日及び公社から依頼があったときに実施する。
- (2) 異常気象、災害、事故、又はその他の要因で、交通に危険を生ずるおそれのある場合（以下「非常時」という）に緊急パトロールを実施する。

4. 道路パトロールの重点項目

道路パトロールの重点項目は、次の通りとする。

- (1) 路面の破損による危険箇所の発見
- (2) 道路の構造物等の損傷及び道路沿線における危険箇所の早期発見
- (3) 道路工事施工箇所の保安状況の確認
- (4) 道路交通障害物並びに無断使用の排除
- (5) 非常時における警戒体制の強化

5. 危険箇所についての措置

道路パトロールによって危険箇所を発見した場合は、周囲の安全を確認した上で停車し、カラーコーン等による危険箇所の表示や、交通制限等の応急措置を講ずるとともに、速やかに公社へ報告を行うものとする。

6. 道路パトロール状況の記録

道路パトロールの結果を道路パトロール日誌に記入し、公社へ報告するものとする。